

境川金森調節池事業説明会の議事要旨

1 開催概要

日 時	平成29年5月21日（日曜日）午後1時00分～午後2時30分
場 所	相模原市 中和田自治会館
参加者数	31名

2 主なご質問・ご意見と回答（要旨）

※複数の方から頂いた同様の質問については、集約して記載しています。ご了承ください。

(1) 計画等全般について

ご質問・ご意見	回答
調節池工事について、町田市議会に請願が出ていたと思うが、影響を教えてください。	<p>請願の趣旨は、西田スポーツ広場の土地使用についての基本協定の凍結と、より丁寧な説明の実施に関しての2点です。</p> <p>請願は町田市議会において採択されましたが、1点目については、「町田市としては、浸水被害の軽減について早急に対応すべき課題であると考えており、東京都が実施する調節池事業に協力するため、基本協定の凍結はいたしません。」とのことです。2点目については、町田市から東京都に要請が来ており、東京都としては、それまでも丁寧に説明してきたつもりではありますが、引き続き丁寧な説明を行っていきます。</p>

(2) 工事全般について

ご質問・ご意見	回答
いつから工事を始めるのか。	現在、町田市側の皆様にも引き続き説明を行っているところです。そのため、本日の説明会でのご意見や、今後さらに町田市側で説明を行い、状況を踏まえて工事着手時期を判断します。
土砂搬出をパイコンベアで行うことは決定なのか。	基本的にはパイコンベアで行うことを考えています。ただし、パイコンベアの故障、メンテナンスその他必要な場合、地元周知の上、市道ルートを使用させて頂く可能性はあります。
全体工期が8年となっているが、パイコンベアを使っても全体工期は短くならないのか。	パイコンベアの使用により土砂搬出期間は短くなりますが、パイコンベアの製作から設置までに1年半からもう少し必要と想定しているため、全体工期はほぼ同じになると考えています。
パイコンベアをサイクリングロード（河川管理用通路）に設置することのだが、現在の利用者数は調査したのか。また、利用者や近隣住民に説明はしているのか。	<p>パイコンベアについては、本日の説明会と平成29年3月26日に町田市側で開催した説明会で説明しています。現在、パイコンベアの詳細な検討を進めており、引き続き近隣住民や利用者に説明を行うことで、周知を図っていきます。</p> <p>（以下、補足説明）</p> <p>利用者調査については、平成28年12月20、28日に実施しています。</p>
ルート①を使用するために、なぜ現在ない橋を架けるのか。	工事用車両の通行ルート検討に当たり、特定の地域に負担がかからないようにするため、仮橋設置も含めたルート①を選定させていただいています。
（工事用車両が通る市道ルートである）ルート①②以外のルートも検討しているのか。	ルート①②以外のルートも検討しましたが、工事用車両が曲がれない等の課題や幹線道路（国道都道）までの距離を考慮した結果、困難と判断しています。
工事用車両のルート①とルート②の使用割合を半分ずつにしてほしい。	トレーラーなどの物理的にルート①しか走行できない車両を除き、一方のルートから進入した車両は、もう一方のルートから退出することを考えているため、基本的にルート①とルート②の使用割合は半分ずつにすることを想定しています。

ご質問・ご意見	回答
本当に相模原市側に工事用ヤードが必要になるのか。	工事用仮橋の設置や工事用車両の通行ルートが必要であること、また、対岸の西田スポーツ広場の多くの部分を調節池とする予定であることから、資機材置き場としてなど作業ヤードが必要になると考えています。周辺家屋等への配慮については、十分検討していきます。 詳細は、工事施工業者が決まった後、工事説明会で説明させていただきます。
(前回の説明会で話が合った)工事用仮橋、仮設人道橋の設置はなくなったのか。	これまでご説明しているとおり、工事車両の通行ルートを確保するため、工事用仮橋は設置することを考えています。仮設人道橋についても、設置予定です。 (以下、補足説明) 今回は、主に土砂搬出方法の変更に関する説明会であり、前回の平成28年5月22日に説明した内容から変更のないものは、説明を省略いたしました。
工事連絡協議会(仮称)を早く設置し、細かいことを決めてほしい。	工事連絡協議会(仮称)については、本体工事着手の目途がつき次第、メンバーを決定し、本体工事が始まる前には設置したいと考えています。
調節池本体工事が決まらなると、舗装を新しくしてもらえないのか。	調節池本体工事の着手時期が決定しない限り、東京都が準備工事として搬出入路の舗装工事を行うことはありません。
準備工事の際にも、交通誘導員は配置してもらえるのか。	(パイプコンベアを使用する場合でも調節池本体工事実施時には、)土砂搬出以外の工事用車両もあるため、以前までの説明のとおり交通誘導員を配置します。 (以下、補足説明) 準備工事は本体工事と比べ、期間や範囲がかなり小さいため、交通誘導員の配置については、準備工事の説明会で改めて説明します。

(3) その他

ご質問・ご意見	回答
金森調節池整備後の上部利用について、適切に維持管理できるように検討してほしい。	境川金森調節池整備後の土地の利用計画は、町田市が検討していくこととなっています。本日いただいたご意見は、町田市に伝えます。
交通量調査の調査日は、上鶴間高校の短縮日とのことだが、通常の登下校の時間も把握しているか。	登下校の時間は各学校にヒアリングを行っており、把握しています。工事契約後は、実際の登下校時間を確認しながら安全対策等対応していきます。
工事の際に、境川の水が汚れるのではないか。 (境川に生息するカワセミに対して心配)	工事現場内からの排水が、河川に流れ込まないように作業現場内で処理を行います。 また、基本的に河川内で作業を行う場合は、濁水が大きく発生しないよう対策を取っていきます。

※説明会時配布資料等は、東京都南多摩東部建設事務所ホームページに掲載しています。

(URL : <http://www.kensetsu.metro.tokyo.jp/nantou/kouji/kasen-seibi.html>)

<問い合わせ先>

- 調節池の計画等に関すること 東京都建設局河川部計画課 TEL 03-5320-5415
- 調節池の工事等に関すること 東京都南多摩東部建設事務所工事課 TEL 042-720-8676